

セコムの競争優位

セコムは、自身の持つ3つの競争優位性を活かして、お客様との絆を深めながら、持続的な成長を続けます。

高い市場シェアと「安全・安心」のセコムブランド

セコムは、日本のセキュリティサービス事業のパイオニアとして、創業以来55年以上にわたり社会の変化とともにサービスを進化させ、業界をリードしてきたことにより、「セコム」を信頼のブランドとして育んできました。

創業期

～オリンピックが飛躍のきっかけに～

1962年、セコムは日本初の警備保障会社として設立されました。当初は、ご契約先が無人となる夜間にセコムの警備員が不定時に訪れて建物内を点検する巡回警備と、ご契約先にセコムの警備員が常駐する常駐警備のサービスから事業を開始しました。その後、1964年の東京オリンピックで選手村の警備を完遂したことを契機に、知名度が大きく向上し、多くのご契約の取得につながりました。

オンライン・セキュリティシステムのパイオニアとして

1966年、セコムは日本初のオンライン安全システム「SPアラーム」を開発しました。巡回警備や常駐警備の契約件数が順調に伸びていた頃でしたが、セコムは「SPアラーム」の優位性やセキュリティサービス事業の将来を見据えて、巡回警備を廃止し、「SPアラーム」を中心に提供していくという経営方針の大転換を図りました。大転換にはさまざまな困難がありましたが、社員は一致団結して「SPアラーム」などのオンライン・セキュリティシステムの普及に努め、着実に契約を伸ばしてきました。

その後、オンライン・セキュリティシステムは、全国ネットワーク化により、高品質なサービスを適切な価格で、幅広いお客様にご利用いただけるようになりました。

また、地域に密着した事業活動を続けることでお客様の「安全・安心」に対するニーズをいち早く把握し、その解決策を迅速に提供することによりセコムへの信頼が高まり、現在、国内のオンライン・セキュリティシステムのご契約件数は、事業所向け・家庭向け合わせて229万件を超え、高い市場シェアを継続しています。多くのお客様に「安全・安心」を提供してきた経験やノウハウと、お客様からの信頼を積み重ねてきた歴史、それが「セコム」という価値あるブランド力に結実しています。



創業期に飛躍のきっかけとなった東京オリンピック選手村の警備



至るところで見かける赤いステッカーは「安全・安心」の証

ブランド価値を高める人財

セキュリティは「安全・安心」を提供する事業であり、品質の高いサービスを提供するためには、変化適応力や価値創造力に優れ、社会貢献意欲の高い人財が不可欠です。セコムは、セキュリティ業界のリーダーとしての知名度や将来性への期待から、セコムのさまざまなサービスを提供する優秀な人財を採用する上で優位性を維持しています。

加えて、創業以来ぶれない軸となる経営理念を共有し、社員一人ひとりが自分の価値観としての理念の体現に日常的に取り組んでおり、それがセコムの競争力の源泉となっています。またその取り組みは、企業理念を組織全体に浸透させ、社員が理念に基づいて主体的に行動できるように促す「Tri-ion (トリオン) 活動」(詳しくはP27) に受け継がれています。

セコムは、これからも「あらゆる不安のない社会の実現」をめざして、現状に甘んじ

ることなく、社会に広く受け入れられる高品質な「安全・安心」を提供し、お客様の信頼を得ることで、セコムブランドの価値をさらに高めています。

持続的な成長を支える継続収入ビジネスモデル

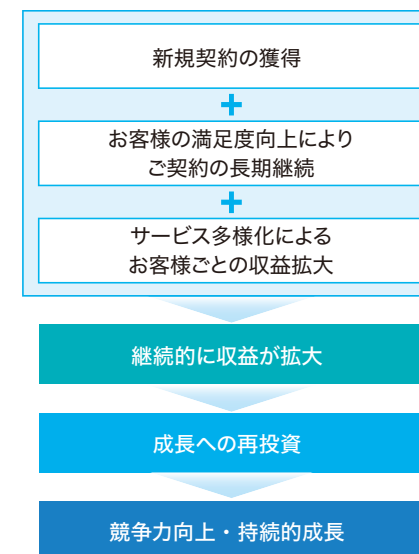
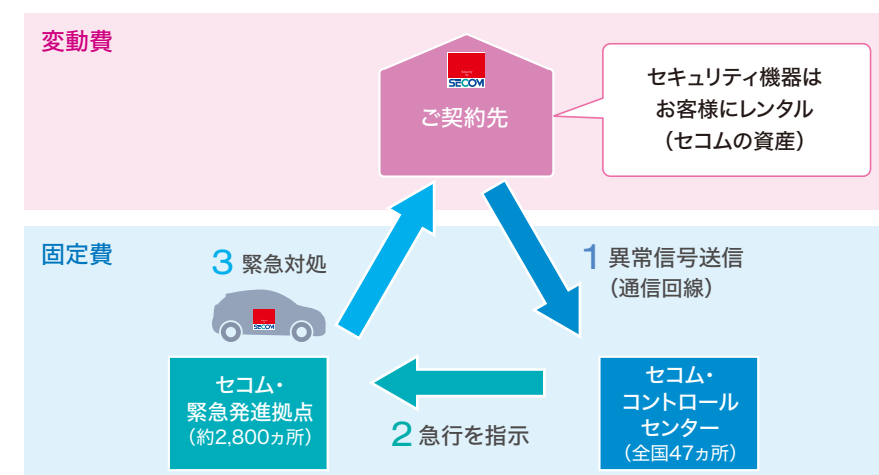
セコムの収益は、その多くがオンライン・セキュリティシステムをはじめとする長期のサービスをご利用いただく「継続収入ビジネス」で構成されているところに特長があります。

たとえば、オンライン・セキュリティシステムは、5年契約を基本とし、以後1年毎

に自動更新しています。セコムでは、ご契約を長期継続していただくために、緊急対処員をはじめ、営業、技術、管理など、部署を問わず社員一人ひとりが、お客様の期待を上回るサービスの提供に努め、お客様の満足度の向上を図っています。また、お客様を1件1件訪問する専門スタッフの

「お客様満足度促進担当」が、お客様に役立つ情報を提供するとともに、ご要望やご意見をお聞きして、たゆまぬサービスの改善と潜在的なニーズの把握に努めています。

オンライン・セキュリティシステムの固定費・変動費(概念図)



競争力向上への継続投資

オンライン・セキュリティシステムを安定して確実に提供するためには、ご契約先の状況を監視するコントロールセンターやそれを支えるITシステム、さらに緊急対処などを行うサービス拠点の整備や優秀な人財の採用・育成など、強固な事業インフラが必要です。セコムは、既に国内すべての地域でオンライン・セキュリティシステムを提供できる体制を整えています。さらなる品質や機能の向上を図り競争力を高める継続的な投資も行っています。

さまざまなサービスへと拡大する継続収入ビジネスモデル

セコムの継続収入ビジネスモデルは、グループ事業のさまざまなサービスにも広がっています。セキュリティサービス事業では、オンライン・セキュリティシステムのほかに、常駐警備や現金護送サービスも継続収入ビジネスです。防災事業では、防災システム導入後の定期的な保守点検サービスのほか、一定の周期で行われる防災システムのリニューアルも、継続性の高いビジネスだと考えています。メディカルサービス事業では、在宅医療サービスに加えて、電子カルテや遠隔画像診断支援サービスといったICTサービスなどの継続収入ビジネスがあります。保険事業では、火災保険やがん保険など、その多くが継

続収入ビジネスになっています。地理空間情報サービス事業では、従来の業務請負型のサービスに加えて、継続契約型のサービスの拡大を図っています。BPO・ICT事業では、データセンター、大規模災害支援サービス、クラウドサービスおよびBPOサービスなどの多くが継続収入ビジネスとなっています。

安定した成長投資サイクルの構築

今後もセコムは、お客様に寄り添った継続収入ビジネスによって、継続的に収益を拡大し、そこから生まれるキャッシュ・フローを使って成長への再投資を繰り返すことで、ますますの競争力向上や持続的成長を図っていきます。

ビジョン実現に向けた成長投資

セコムでは、「あんしんプラットフォーム」構築のための戦略として、グループの総力を結集する“ALL SECOM”戦略、セコムと想いを共にするパートナーが参画する“共想”戦略を推進しています。これらの戦略のもと、「あんしんプラットフォーム」の実現に必要な事業のM&Aを行うことも、ひとつの選択肢となります。

「セコムグループ ロードマップ2022」で公表したように、M&Aの主要対象は、フィジカルセキュリティ、サイバーセキュリティ、BPO・ICT、ヘルスケア、そして技術力の高いベンチャー企業とし、2019年3月期から2023年3月期の5年間に2,000億円の投資枠を設定しています。セコムは、継続収入ビジネスによる安定的なキャッシュ・フローにより、強固な財務基盤を有しており、それがM&Aを含む積極的な成長投資を可能にしています。

M&Aによる総合力の強化

セコムは、これまでもM&Aによりグループの総合力を強化してきました。2006年に国内防災業界最大手の能美防災がグループ入りしたのに続き、2012年に業界第3位のニッタンがグループ入りしたことで、セキュリティサービス事業と防災事業が一体となった提案が可能になりました。

また、2012年には、国内最大級のデータセンター事業会社であるアット東京がグループ入りし、ビッグデータを活用したサービス体制を整え、セコムのICT事業が強化されました。2015年には、集配金サービスの大手企業のアサヒセキュリティがグループ入りし、小売・飲食業などのお客様にセキュリティサービスと集配金サービスを合わせた包括的なサービスを提供できるようになりました。さらに2017年には、コンタクトセンターの運営をはじめとするBPOサービスを提供するTMJがセコムグループ入りし、労働力不足という社会課題に直面するお客様の「誰かに頼みたい」需要を捉え、信頼性の高いBPOサービスを提供しています。

お客様との絆を深めながら持続的成長をめざす

グループの総合力を拡充していくことで、お客様にセコムのサービスをご利用いただける機会が一層拡大しています。セコムは、1件1件のお客様とのつながりを大切にしながら、お客様に寄り添った最適なサービスや商品を提供し、さまざまなお困りごとを解決することで、お客様との絆をより太くしていきます。

セコムのミッションである「あらゆる不安のない社会の実現」のもと、変化の著しい社会において、ニーズを迅速にとらえて幅広いサービスを提供することで、持続的成長につなげていきます。

グループの総合力とそれを支える財務力

現在、セコムグループは、セキュリティサービス、防災、メディカルサービス、保険、地理空間情報サービス、BPO・ICT、不動産・その他の7つの事業で構成され、それらの総合力を生かした多様な「安全・安心・快適・便利」なサービス・商品の提供を通じて、お客様に寄り添いながら、お困りごとの解決に努めています。そして、それら事業のさまざまなサービスを融合することにより、今後もサービスイノベーションを生み出していきます。

「あんしんプラットフォーム」

セコムは、「社会システム産業」の構築をめざし、セコムが培ってきた社会とのつながりをベースに、「セコムグループ2030年ビジョン」で掲げた、暮らしや社会に安心を提供する社会インフラとなる「あんしんプラットフォーム」の実現に向けて邁進しています。

「あんしんプラットフォーム」を通して、「事件・事故」「サイバー犯罪」「自然災害」

「病気・老化」といった生活の中にあるさまざまなリスクに対して、「事前の備え」、有事における「事態の把握」および「被害の最小化」、そして「事後の復旧」という「セコムあんしんフロー」を実現し、切れ目のない安心を社会に届けていきます。